

特 別 要 望

令和 6 年 7 月

新産業団地整備などによる半導体関連産業の集積促進
及び工業用水供給に係る水資源確保に向けた方策検討
に対する協力と支援について



要 望 書

経済安全保障の強化のために半導体関連産業の集積が促進される中、本市においても関連企業の工場拡張及び企業進出が進んでおり、今後、更なる半導体関連産業の集積による県内の雇用創出と産業振興を図るために、次の項目について要望します。

- (1) 地球環境に配慮した「サーキュラーエコノミー型」
新産業団地の整備などによる半導体関連産業の集積
促進に関する支援
- (2) 新規工業用水のための「水資源」確保に向けた方策の
検討に対する協力と支援

【理由】

国内においては、経済安全保障の強化のために半導体の国内製造拠点の確保やサプライチェーンの強靱化等が促進され、特に九州内における関連産業への投資が活発化しております。

諫早市は、県央に位置し、交通アクセスの良さ、人材確保の優位性、地下水等により長崎県内有数の産業集積地となっております。（製造品出荷額等：4,180億円）このような中、大手企業の新工場の立地も決定し令和3年6月に分譲開始した南諫早産業団地はほぼ完売しました。

今後の県内産業の振興・発展のためには、半導体関連企業を中心とした最先端で良質な雇用を創出する新たな産業の誘致が必須であり、その受け皿となる新たな産業団地等（分譲面積：約11ha）の整備を国県の支援を受け進めております。この産業団地を含む当市の産業団地のエネルギー確保については、国のGX推進戦略に沿って県及び2市（雲仙市含む）が検討している諫早湾干拓調整池の「水上太陽光発電」を活用することで持続可能で低炭素化の実現を目指しております。

一方、半導体関連企業の誘致には、工業用水の安定的な供給が求められますが、地下水の開発は限りがあるため、諫早湾干

拓調整池へ流れ込む一級河川本明川等の流況を活用した（調整池上流部から取水し使用後は処理して還元する等）「水資源」の確保ができないかと考えています。

つきましては、経済安全保障の強化及び地域経済の振興のため、「サーキュラーエコノミー型」新産業団地整備などによる半導体関連産業の集積促進に関する支援の継続及び新規工業用水のための「水資源」確保に向けた方策の検討に対する協力と支援をお願いします。

令和6年7月

諫 早 市 長 大 久 保 潔 重

諫早市議会議長 南 条 博

[illegible]

市内の産業団地等の状況（令和6年3月末現在）

	諫早貝津 工場団地	山の手 工業団地	諫早中核 工業団地	諫早流通 産業団地	西諫早 産業団地	南諫早 産業団地	合計
総面積	約 14ha	約 15ha	約 226ha	約 12ha	約 12ha	約 37ha	約 316ha
分譲面積	約 13ha	約 10ha	約 101ha	約 8ha	約 10ha	約 20ha	約 162ha
分譲開始	昭和 38 年	昭和 48 年	昭和 55 年	平成 21 年	平成 26 年	令和 3 年	
立地企業	7 社	30 社	144 社	9 社	14 社	3 社	212 社
分譲率	100%	100%	100%	100%	100%	99%	
就職者数	約 700 人	約 700 人	約 8,500 人	約 500 人	約 500 人	約 1,400 人 見込み	約 12,300 人 見込み
主な 半導体関連	—	—	ソニー グループ	—	—	京セラ(株)	

